

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年9月14日(2017.9.14)

【公開番号】特開2017-62690(P2017-62690A)

【公開日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2015-188164(P2015-188164)

【国際特許分類】

G 0 8 G	1/16	(2006.01)
B 6 0 W	30/16	(2012.01)
B 6 0 W	40/04	(2006.01)
B 6 0 K	31/00	(2006.01)
B 6 0 R	21/00	(2006.01)

【F I】

G 0 8 G	1/16	C
B 6 0 W	30/16	
B 6 0 W	40/04	
B 6 0 K	31/00	Z
B 6 0 R	21/00	6 2 1 C
B 6 0 R	21/00	6 2 4 C
B 6 0 R	21/00	6 2 6 E
B 6 0 R	21/00	6 2 6 C
B 6 0 R	21/00	6 2 6 B
B 6 0 R	21/00	6 2 7

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月4日(2017.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

運転支援に用いられる危険度指標を設定するための危険度指標設定装置(1、101)であって、

車両の状態を取得する状態取得部(10)と、

前記状態取得部により取得された車両状態に応じて危険度指標を算出する指標計算部(11)と、

前記指標計算部により算出される危険度指標を、閾値及び前記閾値を基準として連続的に変化する確率密度関数又は累積分布関数による連続関数の値、を用いて補正演算して変換する指標変換部(12)と、

前記指標変換部により補正演算され変換処理された危険度指標に基づいて、段階的な警告表示、警告音の出力、又は、ナビゲーション装置の操作規制による支援方法を装置に行わせる支援方法決定部(14)と、

を備える危険度指標設定装置。

【請求項2】

請求項1記載の危険度指標設定装置において、

前記状態取得部により取得される車両状態を記憶する記憶部(3)、をさらに備え、

前記状態取得部は、時刻に応じて変化する車両状態を、少なくとも1以上の前車両状態及び、前記前車両状態の後のタイミングで後車両状態を取得して記憶部に記憶させ、

前記指標計算部は、前記記憶部に記憶される前車両状態に応じて前危険度指標を算出し、前記記憶部に記憶される前記後車両状態に応じて後危険度指標を算出するものであり、

前記指標計算部により算出される前危険度指標と前記記憶部の前車両状態とに応じて前記後時点における状態を予測するように補正演算する予測部(19)をさらに備え、

前記指標変換部は、

後危険度指標を前記閾値及び前記閾値を基準として連続的に変化する連続関数の値、を用いて補正演算して変換し、前記後危険度指標を補正演算して変換された値を、前記予測部により予測される補正演算に応じて補正演算する危険度指標設定装置。